

令和元年5月27日	
資料提供	
担当課	有田振興局林務課
担当者	片岡
電話(直通)	0737-64-1263

第32回特用林産功労者表彰で有田管内から1名が表彰されます!!

令和元年5月30日(木)東京都内で開催されます「日本特用林産振興会総会」において、有田川町の上野保二(うえのやすじ)氏が特用林産功労賞を受賞されます(県内では上野氏を含めて2名と1団体が受賞)。

なお下記日程で表彰式が行われますが都合により欠席されます上野氏には有田川町役場において、功労賞の伝達を行います。

記

○日本特用林産振興会総会(表彰式)

1. 日時 令和元年5月30日(木) 14:30~(表彰式は1時間程度)
2. 場所 KKRホテル東京 11階 朱鷺の間 (東京都千代田区大手町1丁目4-1)
3. 受賞者 【特用林産功労賞】
上野保二 (有田川町) 作目: ブドウハゼ

(功績の内容は別紙)

○特用林産功労賞伝達式

1. 日時 令和元年6月11日(火) 10:00~
2. 場所 有田川町役場吉備庁舎 町長室

※日本特用林産振興会

特用林産関連産業の振興を図り、農山村地域の発展に寄与するために昭和59年10月に設立されました。都道府県を単位とした特用林産振興会(正会員)、特用林産関連中央団体(特別会員)及び賛助会員からなっています。会長 小淵優子 <http://nittokusin.jp/wp/>

※特用林産功労者表彰

多年、きのこ類、木質系燃料、特用樹などの栽培・加工・経営などの分野で特用林産の振興のため献身的な活動を続け、その功績が特に顕著な者を表彰することによって、その優れた努力に報いることにより、一層の特用林産の振興を図ることを目的としています。

今年度は全国で23名が表彰されます。和歌山県内では過去32名が受賞しています。

なお作目: ブドウハゼでの受賞は全国で初めてとなります。

受賞者の功績概要

うえの やすじ
上野 保二 (88 歳) 和歌山県有田郡有田川町

ブドウハゼ

上野氏は和歌山県中部に位置する有田川町において、昭和 21 年から家業であるブドウハゼ栽培に従事している。氏は特に難しいとされる接ぎ木技術に卓越し、台木を断幹せずに穂木を接ぐ伝統的な「腹接ぎ」技術を得意とし、地域において技術指導などに尽力してきた。昭和 30 年代以降、国内における木蠟の生産が激減する中、氏は情熱と使命感を持ってブドウハゼ生産を守り続けており、現状も県内生産量の約半分を担っている。とりわけ、近年の欧州におけるジャパンワックス需要の増加などを受け、和歌山県内でも産地再興の動きがある中、接ぎ木技術の保持者として、関係者による研修会で講師として活躍するなど、後継者の育成に大きく寄与している。